

小学生エンジョイプラン

熊本県立御船高等学校

はじめに

平成28年熊本地震において甚大な被害を受けた御船町。町内の山間部に位置する町立滝尾小学校は、校舎の被害は少なかったものの、通学路である国道445号線が土砂崩れや落石で寸断され、通行止めが続いている。そのため児童たちは、御船中学校内で教育活動を行っている。そんな児童たちに、電子機械科で、「小学生エンジョイプラン」と題した、高校生による小学生ものづくり体験を企画し、避難先での学校生活を明るく、楽しく過ごせるよう精神的なサポートを行った。



平成28年9月14日付
熊本日日新聞より

「小学生エンジョイプラン」とは

小学生が楽しめる「ものづくり」の内容として、次の4点を重視した。

- 材料は身の回りにあるもので、入手が容易。
- 特別な工具を必要としない。
- 製作が簡単で、小学生でも気軽に作れる。
- 作ったもので楽しく競技ができる。

以上の点を考慮し以下の内容を行った。

- ① 3, 4年生へ…「紙ひこうき」の製作
- ② 5, 6年生へ…「ペットボトルロケット」の製作

① 3, 4年生(合計21人)を対象とした「紙ひこうき」の製作

○製作指導及び競技大会

紙ひこうきの製作は、一班3人に対し高校生1人が指導に当たり、各班で折り方の違う飛行機が出来上がるようにした。競技大会は、3人一組の団体戦で行い順位を決めた。



写真1 紙ひこうき製作の様子



写真2 競技大会の様子

② 5, 6年生(合計29人)を対象とした「ペットボトルロケット」の製作

○使用材料

- ・ペットボトル(ロケット本体)2本
- ・ジョイントニップル(噴射口)1個
- ・ビニルテープ
- ・ケント紙(羽根用)1枚
- ・給水キャップ(ロケットの先端)1個
- ・接着剤

○製作指導及び競技大会

製作は簡単な工程だが、小学生にとっては非常に難しく、時間がかかった。高校生は、児童に付き添い、話し方や教える方法を工夫し、頑張った。教えてみて改めて人に伝えることの難しさを感じていた。



写真3 ペットボトルロケット製作の様子

競技大会は、3人一組の団体戦で競った。3人のペットボトルロケットの飛行距離を合計し、その班の記録とした。高校生は、大会スタッフとして、司会、計測、記録等の仕事を行う。特に司会の生徒は、インタビューを交えながら、大会を盛り上げた。



写真4 競技大会の様子

○児童の感想(紙ひこうき、ペットボトルロケット)

- ・初めての折り方で紙ひこうきを作ったのが楽しかった。 ・もっとたくさん作りたかった。
- ・紙ひこうき大会で一番になりたかった。 ・長時間飛ぶ紙ひこうきを作りたい。
- ・初めてペットボトルロケットを作って楽しかった。
- ・もっと大きなペットボトルでロケットを作りたい。
- ・ロケット作りを教えてくださいまして有難うございました。

おわりに

児童たちの感想から、ものづくりにとても興味を持ってくれたようだった。また、小学校の先生方へのアンケートで、学校に帰ってからも自分達で工夫して作る児童がいたとのことで、この取組は大成功だった。児童たちが避難先で少しでも楽しく学べるよう、今後も製作内容を工夫しながら引き続き支援していきたい。